

2024年度 第3四半期 決算説明資料



2025年2月12日

株式会社三井E&S



※ 営業外損益の改善により、経常利益率が向上

(単位：億円)

	23年度3Q	24年度3Q	増減
受注高	2,279	2,574	+295
売上高	2,154	2,187	+34
営業利益	135	138	+3
営業利益率	6.3%	6.3%	-
経常利益	117	193	+76
経常利益率	5.4%	8.8%	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	110	352	+242

<期中平均為替レート>

	23年度3Q	24年度3Q
USドル	145.94円	151.21円

2024年度 第3四半期 セグメント別決算概要

※ 主に物流システム部門における工事が好調に進捗した事により増収増益

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	23年度3Q	24年度3Q	増減	23年度3Q	24年度3Q	増減	23年度3Q	24年度3Q	増減
成長事業推進	372	344	△29	292	270	△22	35	41	+7
船用推進システム	857	1,150	+293	997	988	△10	50	62	+12
物流システム	587	591	+3	302	413	+111	10	41	+31
周辺サービス	462	488	+27	526	502	△24	20	△8	△28
その他	1	1	0	37	16	△22	19	1	△19
合計	2,279	2,574	+295	2,154	2,187	+34	135	138	+3

※ 事業構造の変革を成し遂げ、営業CFが着実に増加

(単位：億円)

	23年度3Q	24年度3Q	増減	
営業CF	△384	84	+468	下請代金支払遅延等防止法の運用改正に伴う手形サイト短縮の影響が△約53億円あるもののプラスを維持
投資CF	△4	629	+633	三井海洋開発株式売却（調達資金：約700億円）による増加
フリーCF	△387	713	+1,100	三井海洋開発株式売却の影響を除いてもプラスを維持
財務CF	295	△ 679	△974	主に短期借入金の返済による減少

※ ・営業外損益の改善により、利益見通しの積み増しを図る

・営業CFは豊富な工事量に伴う運転資本の増加などにより減少

(単位：億円)

	前回見通し 2024/11/12	今回見通し 2025/2/12	増減
受注高	3,300	3,300	0
売上高	3,000	3,000	0
営業利益	170	170	0
経常利益	180	220	+40
親会社株主に帰属する 当期純利益	350	380	+30
フリーCF	760	700	△60
うち営業CF	170	110	△60
有利子負債	1,000	1,000	0

※ 前提為替レート US\$ =145円

※ USドル1円の為替変動が営業利益に与える影響はほぼありません

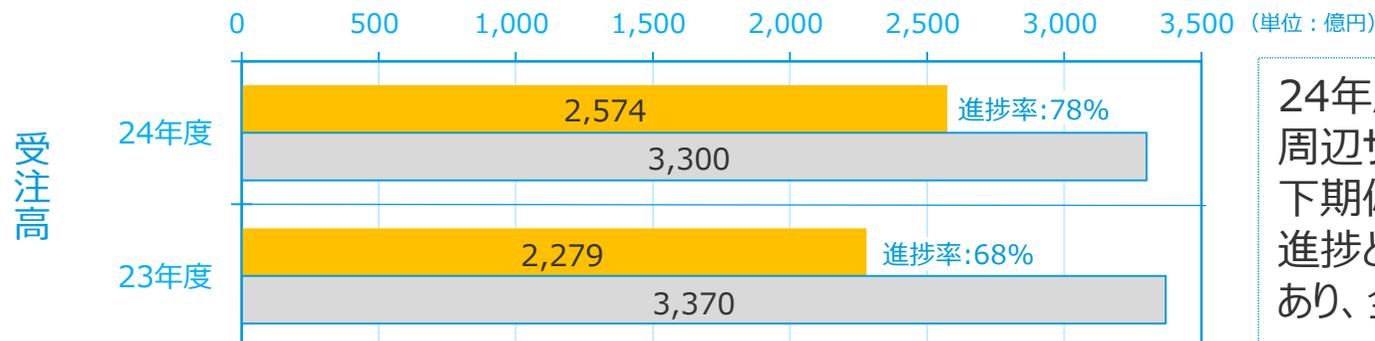
2024年度 セグメント別業績通期見通し

※ 好調な中核事業が周辺サービス部門の減少を補い、
営業利益合計の通期見通しに変更なし

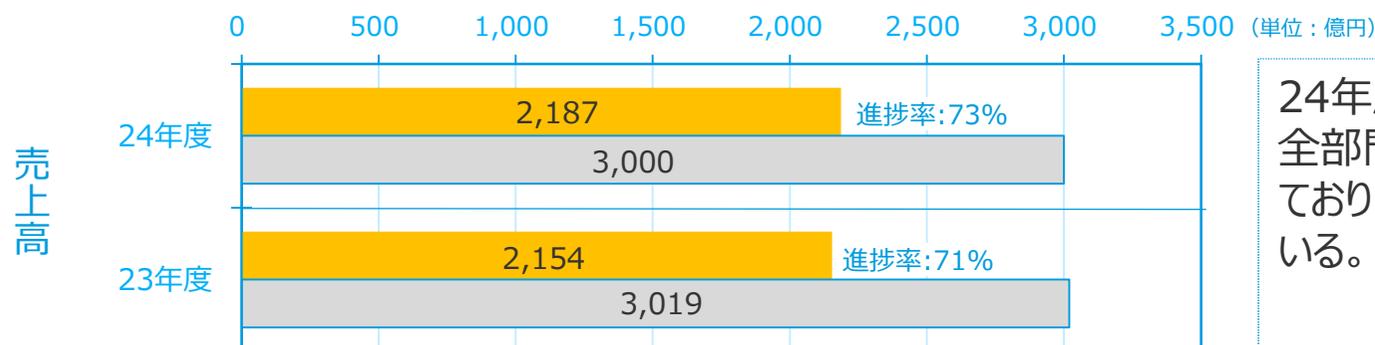
(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	前回見通し 2024/11/12	今回見通し 2025/2/12	増減	前回見通し 2024/11/12	今回見通し 2025/2/12	増減	前回見通し 2024/11/12	今回見通し 2025/2/12	増減
成長事業推進	400	400	0	400	400	0	50	50	0
船用推進システム	1,400	1,400	0	1,300	1,300	0	60	70	+10
物流システム	700	700	0	600	600	0	30	50	+20
周辺サービス	800	800	0	700	700	0	30	0	△30
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,300	3,300	0	3,000	3,000	0	170	170	0

※ 好調な業績を反映し、概ね期初の想定を上回る進捗率で推移



24年度 3Q:
 周辺サービス部門では予定している案件が下期偏重となっている事から若干緩やかな進捗となっているが、その他の部門は順調であり、全体的には堅調な進捗となっている。



24年度 3Q:
 全部門ともに既受注工事が順調に進捗しており、全体的に概ね計画通りに推移している。



24年度 3Q:
 成長事業推進部門、船用推進システム部門、物流システム部門ともに製品およびアフターサービス事業の採算が改善した事などにより、全体として堅調な進捗となった。

※ 2025年3月期 期末配当予想

普通株式	2024年3月期	2025年3月期	
	前期実績	前回予想	今回修正予想
年間配当金	5円	18円	20円

※ 配当性向

- ・三井E&S Rolling Vision2024にて、株主への利益還元を提示

年度	2024	2025	2026	...	2030
配当性向	5%	15%	20%	...	30%

「親会社株主に帰属する当期純利益」の上方修正に伴い、
 期末配当を増配

※ アンモニア焚き大型低速 2 サイクルエンジンの商用機として 世界初となるアンモニア燃料試験運転を開始

- ・ アンモニア燃料タンクや燃料供給システム等の周辺機器開発はNEDO^(*1)の「アンモニア燃料船開発と社会実装の一体型プロジェクト」の支援の下で推進
- ・ 上記プロジェクトにて建造される載貨重量20万トン級大型ばら積み船に、世界初号機となる本エンジンと当社が独自開発した燃料供給装置等を納入予定

(*1)NEDO:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

船用推進システムサプライヤーとして、海上物流分野における持続的なカーボンニュートラル社会の実現に貢献

- ◆当社グループのマテリアリティの1つである「脱炭素社会の実現」の目標達成に向けたステップとして、サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量（Scope3）の算定を2023年度実績分から開始
- ◆2023年度の当社の温室効果ガス排出量について、国際的な認証機関SGS SAの日本法人SGSジャパン株式会社による検証意見書を取得

当社(単体)の2023年度CO₂排出量

単位:千t-CO₂

Scope分類	排出区分	当社合計
Scope1	自社内の燃料の消費による直接排出	41.6
Scope2	自社内の電力消費による間接排出	34.8
Scope3	サプライチェーンにおける排出量	2,205.6
	1. 調達品製造時の排出	752.0
	2. 資本財導入時の排出	18.6
	3. 燃料・エネルギーの生産時の排出	4.5
	4. 輸送・配送（上流）時の排出	1.2
	5. 事業から出る廃棄物処理時の排出	1.6
	6. 従業員の出張による排出	0.3
	7. 従業員の通勤による排出	1.0
	9. 輸送・配送（下流）時の排出	16.9
	11. 販売した製品の使用による排出	1,409.5

検証対象範囲の詳細については当社HPに掲載している検証意見書をご覧ください。
https://www.mes.co.jp/sustainable/uploads/SGS25_122.pdf

透明性と信頼性の高いデータを適切に開示する事で企業価値の更なる向上を図る

※ 主に金融費用の減少により、営業外損益が改善

(単位：億円)

科目	23年度3Q	24年度3Q	増減	
売上高	2,154	2,187	+34	
売上総利益	342	343	+1	
販売費及び一般管理費	208	206	△2	
営業利益	135	138	+3	
営業外収益	50	84	+34	主に三井海洋開発の増益に伴う持分法による投資利益の増加
営業外費用	68	29	△40	主に有利子負債の削減により金融費用が縮小した事に伴う減少
経常利益	117	193	+76	
特別利益	34	242	+208	主に三井海洋開発株式の売却に伴う関係会社株式売却益の増加
特別損失	17	44	+27	
税金等調整前四半期純利益	133	391	+258	
法人税等	21	39	+18	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	2	0	△2	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	110	352	+242	

※ 財務体質が回復し、有利子負債が自己資本の範囲内で推移

(単位：億円)

	23年度	24年度3Q	増減	
資産合計	4,671	4,393	△278	
(現金及び預金)	356	389	+33	
(受取手形、売掛金及び契約資産)	963	931	△32	
(棚卸資産)	677	760	+83	
(有形・無形固定資産)	1,316	1,313	△3	
(投資有価証券)	761	274	△488	主に三井海洋開発株式の売却による減少
負債合計	3,206	2,758	△448	
(支払手形及び買掛金)	647	574	△74	
(契約負債)	308	371	+63	
(有利子負債)	1,620	1,059	△561	主に短期借入金の返済による減少
純資産合計	1,465	1,635	+170	
(自己資本)	1,420	1,592	+172	主に利益剰余金の積み上げによる増加
(自己資本比率)	30.4%	36.2%	-	
運転資本(*)	673	703	+30	
D/Eレシオ	1.1倍	0.7倍	-	

(*1) 運転資本 = 売上債権 (除く前受金) + 棚卸資産 - 仕入債務

※ 二元燃料エンジンへのシフトが進むなか、受注が好調に推移

	23年度 3Q		24年度 3Q		24年度 見通し	
	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)
受注高	72	199	81	233	—	—
売上高	115	232	108	219	—	—
受注残高	66	149	93	245	—	—
生産実績	115	232	99	200	146	304



MITSUI E&S

Engineering & Services for Evolution & Sustainability

本資料のうち、当社の業績見通し、目標、計画、戦略等には将来に関する記述が含まれております。これらは現時点で把握可能な情報に基づき当社が合理的に判断した見通しであり、既知、未知のリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、将来における当社の実際の業績または展開が大きく異なる可能性がございます。